

【2023 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科・福祉心理学科】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
社会保障 a		必修	2	3	後期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
増田 洋介	B310	yosuke.masuda	水曜日 12:10~13:00		
授業の目的・概要	<p><目的> 社会保障の理念や歴史的展開、仕組みやその内容、現代社会における社会保障の位置づけについて具体的に理解することを目的とする。</p> <p><概要> 社会動向に対する現状把握をもとに、現代社会における社会保障のあり方について課題認識し、現在の社会保障がどのような形で展開されているかについて理解と考察を深められるよう授業を行う。</p>				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input checked="" type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・レポート <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input type="checkbox"/> その他 ()				
学習上の助言	社会保障の仕組みはその時々の社会動向と大きく関連しているため、日頃から幅広くアンテナを張ってほしい。授業中やリアクションペーパー、オフィスアワーを活用し、授業内容の理解を深めてほしい。				
教科書	最新 社会福祉士養成講座 精神保健福祉士養成講座 7 社会保障/編: 一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟/中央法規出版				
参考書	特になし				
外部教材	特になし				
① ② ③ ④ ⑤ ⑥			学生が達成すべき行動目標		
① 社会保障の基盤となっている現代社会の動向を理解し、説明することができる。			関連卒業認定・学位授与方針		
② 社会保障の概念や対象、理念について理解し、説明することができる。			HSU(1)、(2)、(3)、WP(1)、(2)、(3)		
③ 社会保障制度の歴史的展開について理解し、説明することができる。			HSU(1)、(2)、(3)、WP(1)、(2)、(3)		
④ 社会保障の財政について理解し、説明することができる。			HSU(2)、(5)、WP(2)、(3)		
⑤ 社会保険、社会扶助、民間保険の関係について理解し、説明することができる。			HSU(2)、(5)、WP(2)、(3)		
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	[オリエンテーション] 授業の進め方、評価方法、学習方法について理解する。	講義	シラバスを精読する。	4	
2	[現代社会と社会保障①] 人口動態の変化、経済環境の変化について学ぶ。	講義	教科書第 1 章第 1・2 節を精読する。	4	
3	[現代社会と社会保障②] 労働環境の変化について学ぶ。	講義	教科書第 1 章第 3 節を精読する。	4	
4	[社会保障の概念や対象およびその理念①] 社会保障の概念と範囲について学ぶ。	講義	教科書第 2 章第 1 節を精読する。	4	
5	[社会保障の概念や対象およびその理念②] 社会保障の役割と意義について学ぶ。	講義	教科書第 2 章第 2 節を精読する。	4	
6	[社会保障の概念や対象およびその理念③] 社会保障の理念、対象について学ぶ。	講義	教科書第 2 章第 3・4 節を精読する。	4	
7	[社会保障制度の展開①] 世界の救貧対策と社会保障制度の展開について学ぶ。	講義	教科書第 2 章第 5 節を精読する。	4	
8	[社会保障制度の展開②] 日本の社会保障制度の展開について学ぶ。	講義		4	
9	[社会保障の財政①] 社会保障の財源について学ぶ。	講義	教科書第 3 章第 1 節を精読する。	4	
10	[社会保障の財政②] 社会保障の支出について学ぶ。	講義	教科書第 3 章第 2 節を精読する。	4	
11	[社会保障の財政③] 社会保障の国民負担率、社会保障と経済との関係について学ぶ。	講義	教科書第 3 章第 3・4 節を精読する。	4	
12	[社会保険・社会扶助・民間保険の関係①] 保険と扶助の考え方、原理の違い、理論について学ぶ。	講義	教科書第 4 章第 1 節を精読する。	4	
13	[社会保険・社会扶助・民間保険の関係②] 社会保険と社会扶助の歴史的経緯と特徴について学ぶ。	講義	教科書第 4 章第 2 節を精読する。	4	
14	[社会保険・社会扶助・民間保険の関係③] 社会保険と民間保険の現状について学ぶ。	講義	教科書第 4 章第 3 節を精読する。	4	
15	[まとめ] これまでの授業の総括を行う。	講義	教科書第 1~4 章の内容を復習する。	4	
試	定期試験 達成度評価・評価のポイントを参照				

【2023 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科・福祉心理学科】

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		70	0	0	0	30	100
総合 力 指 標	知識・技術力	40	0	0	0	0	40
	思考・推論・創造する力	20	0	0	0	10	30
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	10	10
	問題を発見・解決する力	10	0	0	0	10	20
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①	✓	期末試験を実施し、記述式および選択式の問題を出題する。行動目標①～⑤について総合的な達成度を判断できるよう出題し、評価する。				正答や模範解答を Teams で公表する。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
	⑥						
レポート	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①	✓	授業終了後にリアクションペーパーを Teams にて提出する。授業内容の理解や取り組み状況等を確認し、評価する。				次回授業時にフィードバックを行う。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
	⑥						
備 考							
他 担 当 教 員	なし						
教員の実務経験	社会福祉士資格取得後 7 年の実践経験を有する						
実践的授業の内容	教科書に記載されている一般的事項を踏まえながら、教員自身の実務経験で得た具体例（個人、団体等の特定ができないよう加工）を挙げて説明し、理論知と実践知の両面から理解を促すよう工夫する。						
そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> 受講の際には、大学が示した感染症予防対策の指針を遵守すること。また感染症予防対策の観点から、教員の指示に従わない行動をとった場合には受講を認めないことがある。その場合、授業は欠席として取り扱う。 今後の新型コロナウイルス感染症の社会情勢によって、シラバスの変更が行われることがある。 						